

平成30年度 共同研究一覧

| 学部等 | 研究内容 | 担当教員 |
|--------|--|----------------------------|
| 経済学部 | 職場内コミュニケーションを誘発する場と仕掛けに関する研究 | 准教授 藤野 秀則 |
| 生物資源学部 | コムギ品種改良に最適な重イオンビーム照射技術の開発 | 教授 村井 耕二 |
| 生物資源学部 | ミヤコグサ重イオン照射変異体系系統群の育成および変異体の単離 | 教授 村井 耕二 教授 石川 敦司 |
| 生物資源学部 | 次世代型農業資材の開発およびトマト新種の育成 | 教授 木元 久 |
| 生物資源学部 | バイオインキュベーションセンター特許微生物の活用 | 教授 木元 久 |
| 生物資源学部 | バイオスティミュラントの開発 | 教授 木元 久 |
| 生物資源学部 | 非リボソーム型ペプチド合成酵素を用いた新規アミノ酸定量法の開発 | 教授 濱野 吉十 |
| 生物資源学部 | 末端官能基化ε-ポリリジンを用いた汎用高分子の機能材料化に関する研究 | 教授 濱野 吉十 |
| 生物資源学部 | 糖鎖認識蛍光プローブの開発 | 教授 日比 隆雄 |
| 生物資源学部 | バチルス属細菌を由来とするプロテアーゼの低温活性化研究 | 教授 日比 隆雄 |
| 生物資源学部 | ホスホリパーゼの低温活性向上および基質特異性改変 | 教授 日比 隆雄 |
| 生物資源学部 | 海藻ふのり由来、増粘多糖類の抽出および精製方法の確立 | 教授 村上 茂 |
| 生物資源学部 | 乾燥地栽培コムギ品種の育成に向けて：重要病害さび病抵抗性合成6倍体コムギのスクリーニング | 准教授 松岡 由浩 |
| 生物資源学部 | 耐塩性研究のためのタルホコムギ水耕栽培法の開発 | 准教授 松岡 由浩 |

| 学部等 | 研究内容 | 担当教員 |
|----------|--|--------------|
| 生物資源学部 | 福井県での栽培に最適化した酒米“新山田錦”の育成 | 准教授 三浦孝太郎 |
| 生物資源学部 | ソルガムのバイオマス及び子実利用を目指した遺伝育種学的研究 | 准教授 三浦孝太郎 |
| 生物資源学部 | イネの食味および高温登熟耐性に関する遺伝子の解析とそれらを利用した有望系統の育成 | 准教授 三浦孝太郎 |
| 生物資源学部 | チガヤに対する防草効果の高いテキスタイルの開発 | 准教授 水口 亜樹 |
| 生物資源学部 | 県産スギ木質ペレットによる水田抑草剤商品化事業のための抑草効果に関する研究 | 准教授 水口 亜樹 |
| 海洋生物資源学部 | 筋原線維に対するトランスグルタミナーゼ反応性向上研究 | 教授 大泉 徹 |
| 海洋生物資源学部 | 水産協調型人工リーフの順応的管理に関する研究 | 教授 瀬戸 雅文 |
| 海洋生物資源学部 | 人工リーフのエゾアワビ増殖場としての活用手法に関する研究 | 教授 瀬戸 雅文 |
| 海洋生物資源学部 | サケ鼻軟骨に含まれるⅡ型コラーゲンの定量方法の確立 | 教授 水田 尚志 |
| 海洋生物資源学部 | 福井県における市場ニーズに基づくアラレガコ養殖および販路拡大に関する研究 | 准教授 田原 大輔 |
| 海洋生物資源学部 | 循環飼育システムによるアラレガコの育成のおよび完全養殖に関する研究 | 准教授 田原 大輔 |
| 海洋生物資源学部 | 福井県における市場ニーズに基づくアラレガコ養殖および販路拡大に関する研究 | 准教授 田原 大輔 |
| 海洋生物資源学部 | 福井県産地域特産種アラレガコ種苗生産技術の確立 | 准教授 田原 大輔 |
| 海洋生物資源学部 | 冷海水保管時の魚肉中イオン強度の増加が圧搾混合処理時の近眼繊維タンパク質性状変化に及ぼす影響 | 准教授 松川 雅仁 |
| 海洋生物資源学部 | 美浜熟成魚の加工技術に関する研究 | 准教授 松川 雅仁 |

| 学部等 | 研究内容 | 担当教員 |
|---------|--------------------------------------|-------------|
| 看護福祉学部 | 健康長寿要因に関する総合的研究 | 教授 塚本 利幸 |
| 看護福祉学部 | 抗 α エノラーゼ (NAE) 抗体測定系の技術移管と評価 | 教授 米田 誠 |
| 地域経済研究所 | 高浜町の人口動態分析と将来人口推計 | 講師 猿渡 剛 |